青森県経済統計報告

　　　令和元年８月６日

企画政策部統計分析課

１　青森県の推計人口（令和元年7月1日現在）……………………………………………………　 1

|  |
| --- |
| 県人口　1,248,340人（対前月974人減少）  自然動態　　702人減少（出生者数　 611人、死亡者数　1,313人）  社会動態 272人減少（転入者数 1,091人、転出者数 1,363人） |

２　本県の経済動向（令和元年5月・6月の経済指標を中心として）

（１）経済概況

|  |
| --- |
| 本県経済は、緩やかに回復している。  景況感（青森県景気ウォッチャー調査結果）をみると、現状判断ＤＩは４６．５、先行き判断ＤＩは４４．０と、いずれも５０を下回った。 |

（２）主要経済指標の動向

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| (2-1) | 生産動向 | ・令和元年5月の**青森県鉱工業生産指数**(平成22年＝100)は、季節調整済指数が 114.9 で、前月比3.7％の上昇となり、2カ月連続で前月を上回った。また、原指数は 117.1 で、前年同月比 1.5％の上昇となり、3カ月ぶりに前年同月を上回った。 | … | 2 |
| (2-2) | 雇用労働 | ・令和元年5月の**定期給与**は221,585円で前年同月比2.4％増となった。**総実労働時間**は143.6時間で前年同月比5.2％減、**所定外労働時間**は9.2時間で前年同月比12.4％減となった。  ・令和元年6月の**有効求人倍率**（季節調整値）は1.21倍で、前月を0.02ポイント下回った。 | … | 3 |
| (2-3) | 物　　価 | 令和元年6月の**青森市消費者物価指数**（平成27年=100)は、総合指数が102.5となり、前月比0.1％の上昇、前年同月比1.1％の上昇となった。また、生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は102.1となり、前月と同水準、前年同月比0.6％の上昇となった。 | … | 5 |
| (2-4) | 個人消費 | ・令和元年6月の**百貨店・スーパー販売額**は、全店舗ベースが136億円で前年同月比1.1％増となり、2カ月ぶりに前年同月を上回った。また、既存店ベースでは前年同月比2.7％増となり、4カ月連続で前年同月を上回った。  ・令和元年6月の軽乗用車を含めた**乗用車新車登録・届出台数**は3,809台で、前年同月比3.3％減となり、3カ月ぶりに前年同月を下回った。  ・令和元年6月の**観光入込客数**は、主な観光施設が879千人で前年同月比4.2％減となり、3カ月ぶりに前年同月を下回った。また、主な宿泊施設は139千人で前年同月比1.8％減となり、3カ月ぶりに前年同月を下回った。 | … | 6 |
| (2-5) | 建　　設 | ・令和元年6月の**新設住宅着工戸数**は596戸で、前年同月比10.0％減となり、2カ月連続で前年同月を下回った。  ・令和元年6月の**公共工事請負額**は197億5,400万円で前年同月比22.4％増となり、4カ月連続で前年同月を上回った。 | … | 7 |
| (2-6) | 企業倒産 | 令和元年6月の**企業倒産**は、件数は6件で前年同月比50.0％増となった。負債総額は5億800万円で前年同月比152.7％増となった。 | … | 8 |

（３）景気動向指数ＣＩ（令和元年５月分）……………………………………………………　 …　 　9

|  |
| --- |
| 先行指数　 113.9（前月を16.2ﾎﾟｲﾝﾄ下回り、2カ月ぶりに下降した）  一致指数　 138.8（前月を14.5ﾎﾟｲﾝﾄ下回り、2カ月ぶりに下降した）  遅行指数　 108.9（前月を1.4ﾎﾟｲﾝﾄ上回り、2カ月ぶりに上昇した） |

（４）青森県景気ウォッチャー調査（令和元年７月期） ……………………………………　…　 10

|  |
| --- |
| 3カ月前と比べた景気の現状判断ＤＩ…46.5（前期比1.3ポイント減、6期連続で50を下回る)  3カ月後の景気の先行き判断ＤＩ………44.0（前期比8.8ポイント減、2期ぶりに50を下回る） |





**（２－２）雇用労働**

**（２－２－１）給与・労働時間（毎月勤労統計調査結果）**

　令和元年5月の定期給与は221,585円 で、定期給与指数（平成27年＝100）では102.6となり、前年同月比2.4％増と5カ月連続の増（現金給与総額240,340円、現金給与総額指数95.8、前年同月比6.9％増）となった。また、実額で比較した定期給与の全国対比は84.3となった。

　総実労働時間は143.6時間で、総実労働時間指数は92.9となり、前年同月比5.2％減と9カ月連続の減となった。このうち、所定外労働時間は9.2時間で、所定外労働時間指数は80.0となり、前年同月比12.4％減と16カ月連続の減となった。





**（２－２－２）有効求人倍率**

令和元年６月の有効求人倍率（季節調整値）は1.21倍で、前月を0.02ポイント下回った。就業地別有効求人倍率は1.32倍で、前月を0.03ポイント下回った。



（参考）充足率（新規学卒者を除きパートタイムを含む）

　令和元年６月の充足率は22.7％で、前年同月を1.3ポイント上回った。



**（２－３）物価**

　令和元年6月の青森市消費者物価指数（平成27年=100)は、総合指数が102.5となり、前月と比べ0.1％の上昇、前年同月と比べ1.1％の上昇となった。

　生鮮食品を除く総合指数は102.7となり、前月と同水準、前年同月と比べ0.7％の上昇となった。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は102.1となり、前月と同水準、前年同月と比べ0.6％の上昇となった。

　総合指数が前月と比べ0.1％の上昇となった内訳を寄与度でみると、食料（生鮮果物など）、被服及び履物（シャツ・セーター・下着類など）などの上昇が要因となっている。

　総合指数が前年同月と比べ1.1％の上昇となった内訳を寄与度でみると、食料（生鮮果物など）、光熱・水道（電気代など）などの上昇が要因となっている。





　※　**寄与度**とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示した  
 ものであり、全費目の寄与度を合計すると、原則として、総合指数の前月比及び前年同月比（％）

の値に一致する。

前月比、前年同月比及び寄与度は、端数処理前の指数値を用いて計算しているため、公表された

指数値を用いて計算した値とは一致しない場合がある。

　本資料は総務省統計局「小売物価統計調査」の調査票情報を独自集計したものである。

**（２－４）個人消費**

**（２－４－１）百貨店・スーパー販売額**

令和元年６月の百貨店・スーパー販売額は、全店舗ベースが136億円で前年同月比1.1％増となり、2カ月ぶりに前年同月を上回った。また、既存店ベースでは前年同月比2.7％増となり、4カ月連続で前年同月を上回った。



　＊　大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メ－トル以上の商店をいう。

そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。

**（２－４－２）乗用車新車登録・届出台数**

令和元年６月の軽乗用車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,809台で、前年同月比3.3％減となり、３カ月ぶりに前年同月を下回った。小型乗用車及び軽乗用車が減少したことによる。



**（２－４－３）観光入込客数**

令和元年６月の観光入込客数は、主な観光施設が879千人で前年同月比4.2％減となり、3カ月ぶりに前年同月を下回った。また、主な宿泊施設は139千人で前年同月比1.8％減となり、3カ月ぶりに前年同月を下回った。観光施設は青森市とむつ市の施設で減少し、宿泊施設は青森市、弘前市、むつ市の施設で減少したことによる。



**（２－５）建　　設**

**（２－５－１）住宅建設**

　令和元年６月の新設住宅着工戸数は596戸で前年同月比10.0％減となり、2ヵ月連続で前年同月を下回った。主に貸家が減少したことによる。

**（２－５－２）公共事業**

令和元年６月の公共工事請負金額は197億5,400万円で前年同月比22.4％増となり、国などの増加により４カ月連続で前年同月を上回った。また、令和元年６月までの累計金額は693億5,900万円で前年同期比19.4％増となった。



**（２－６）企業倒産**

　令和元年６月の企業倒産は、件数は６件で前年同月比50.0％増となった。負債総額は5億800万円で前年同月比152.7％増となった。また、令和元年６月までの累計倒産件数は17件で前年同期比54.5％増、負債総額は14億8,300万円で前年同期比208.0％増となった。



**（３）青森県景気動向指数**

　令和元年５月の青森県景気動向指数（ＣＩ）は、先行指数113.9、一致指数138.8、遅行指数108.9となった。

　先行指数は、前月を16.2 ﾎﾟｲﾝﾄ下回り、２カ月ぶりに下降した。

一致指数は、前月を14.5 ﾎﾟｲﾝﾄ下回り、２カ月ぶりに下降した。

遅行指数は、前月を1.4 ﾎﾟｲﾝﾄ上回り、２カ月ぶりに上昇した。

５月の一致指数は雇用、流通関連の指数がマイナスになったことから下降した。







